

津山高校

第27号

県南クラブ

2022年3月25日発行
津山高等学校同窓会
岡山県南支部会報

皆様お元気でお過ごしでしょうか。コロナ禍により、津山高校同窓会岡山県南支部も2019年の10月20日に開催した令和元年度総会・懇親会以来、支部活動を休止せざるを得ない状況となっております。

2021年は、2年に1回開催する総会の年でしたが、コロナ感染拡大により、役員決議により総会を1年延期とさせていただきました。

2022年は、延期された総会を開催したいとの思いから、例年会場となっておりますアークホテルを10月16日（日）で仮押さえはしておりますが、開催については非常に不透明な状況です。

早めに開催可否の判断をさせていただき、改めて会員の皆様に連絡をさせていただければと思っております。



写真は、いずれも令和元年度総会・懇親会



随想

ご挨拶

支部長 松本 健五

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、支部会報「県南クラブ」第27号発刊の運びとなりました。平素は県南支部の運営に対し、温かいご支援ご協力を賜り誠に有難うございます。

令和2年3月に岡山で新型コロナウイルス陽性者が確認されたその日から私たちの日常生活は一変することとなりました。現在に至っても感染状況は好転せず、不自由な、一喜一憂、季節感のない日々が続いています。また県南支部の活動は催しをはじめ、すべてが休止状態となっています。

さて私が人生の道しるべとしているものには「徳川家康公遺訓」というものがあります。これは「人の一生は重荷を負て遠き道をゆくが如し」から始まり、「おのれを責めて人をせむるな 及ばざるは過ぎたるよりまされり」で終わる大変有名な書です。

これには数多くの遺訓がおさめられていますが、とりわけ「不自由を常と思えば不足なし」という言葉が現在の私たちが見習うべき普遍的な教えだと感じます。というのもこの言葉は「不自由があたり前と思えば、不満を覚えることもない」ということを意

味するからです。

今なお、感染予防対策のため、以前の日常はなく、多くが制限されています。多くの人は、早くコロナ前に戻ることを願っていることでしょう。ところが、もしかしたら、元通りの世の中には戻らないかもしれないのです。一方で「不自由を常と思えば」ならどうでしょうか。現在置かれている状況があたり前だと思えば、「コロナ前はこうだった」という呪縛から解放され、「今の状況でできることは何か」を考えられるようになるはずです。そして心の負担も少なくなり、状況に応じて気持ちを切り替え、前を向いてかじを取れる。この遺訓は、そんなことも教えてくれているような気がするのです。あせらず、あわてず、あきらめず。

あるがまま、ありがとう。

末筆になりましたが会員皆様とご家族の無事息災と支部活動が再開されることを祈念しご挨拶とさせていただきます。

(まつもと・けんご。昭和45年卒。岡山市立総合医療センター理事長・岡山市立市民病院院長。美作市・大原中学校出身。岡山市北区在住)

随想

近況報告

岡山県立津山高等学校長 赤松 一樹



岡山県立津山高等学校同窓会岡山県南支部の皆様
には、平素から本校教育活動の充実と発展に格段の
御理解と御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

日常の教育活動を取り戻したいとの期待を持って
迎えた令和3年度ですが、新型コロナウイルス感染
症の終息が見通せない中、学習活動を一部制約した
り部活動を制限したりする学校生活が続いていま
す。令和2年度の高校生徒会長は、生徒会誌「椿
陵」に、「“当たり前”であった日常・学校生活が
奪われた事で“当たり前なもの”など本当はなく
“有り難いもの”であったこと、また一つ一つのこ
とに価値がありそれに気が付かず“当たり前だ”と
思い込んで日々を過ごしてきたということに気付か
された。コロナ禍により新しい生活様式を取り入れ
限られた条件の中で自分には何ができるのかを考え
る機会になった。」と振り返っています。

そうしたコロナ禍での学びの一端を御紹介します
と、本校はスーパーサイエンスハイスクール
(SSH)校としてフィールドワークを行ったり、大

学や研究機関等を訪問するなどの機会を設けており
ましたが、現在はオンラインの活用を積極的にすす
めています。現地での学びにはかないませんが、東
京大学や英国・ユニバーシティ・カレッジ・ロンド
ン等、国内外の研究機関と教室を接続し、最先端の
研究内容などについて研究者から学ぶことで生徒た
ちは大いに刺激を受け、志を高くしています。

令和2年度末には、平成27年に開校した津山中学
校1期生が中高6年間の学びを結実し、高校から入
学してきた生徒とあわせて234名が津山高校72期生
として本校を巣立ちました。72期生は、新たに始
まった大学入学共通テストなどの大学入試改革やコ
ロナ禍での受験に戸惑いや不安を感じながらも、東
京大学への3名の合格をはじめ、それぞれが目指し
た進路の実現を果たしております。

最後に、県南支部の益々の御発展、及び、会員の
皆様の御健勝と御多幸を祈念いたしますとともに
、今後も母校への変わらぬ御支援をお願いいたし
まして筆をおかせていただきます。



随想

コロナ禍中であって

副支部長 戸田 豊

過日、社員一人のコロナ陽性が判明し、ひと騒ぎした。

平素から出勤時の検温、手指の消毒、マスク着用、三密回避など基本動作の徹底を図ってきたつもりではあったが、スキを突かれた。慌てて全社員のPCR検査を実施した。結果全て陰性で、拡散は回避できた。保健所の指示で、濃厚接触者に認定された若干名が一時自宅隔離となったものの、感染経路については心当たりもなく、釈然としないまま騒動はいつの間にか鎮静した。しかし今振り返ってみて、「しなくてもよい経験をしたなあ…」と若干の虚しさを感じている。

そもそもCOVID19という新しい流行り病に対する受け止め方が、個々人によって随分違っている。生真面目で不潔を嫌う人は、他人に対してもマスクの素材から着用の仕方にまで細かく要望し、度が過ぎると、コロナ警察と称する暴力行為に及ぶ輩まで出てきている。反対に、カミナリは自分には落ちないと確信しているようなタイプは、平然と鼻出し・あご出しマスクで歩き廻っている。ワクチンの無効

性や副反応被害を、SNSで誇張する輩もいる。

幸福な平時ならば、個性豊かな様々なタイプの人間が、自由な角度から議論し、物事をまとめながら前に進むものだが、コロナという禍は、そういうゆとりのある闊達な議論を許してくれない。即ち、二つの両極に立つ人々が、つまらぬことで衝突してしまう状況が随所で発生してしまっている。小さいところでは、閉店時間にルーズな居酒屋は許してよいのか、大きいところでは、オリンピックの会場は、無観客が正解だったか否か。菅政権のコロナ対策は後手後手だったか努力は評価すべきか？ 等々……

コロナのお陰で色々な事が停滞し、不必要な論争が繰り広げられ、疲労感だけが残る。

医療に従事する皆さんの為にも、一日も早く平穏な世界に戻ることを祈るばかりです。

以上

(とだ・ゆたか。昭和45年卒。クリエイティブリンク株式会社社長)

随想

Withコロナ時代のバンカーは…。

株式会社トマト銀行 取締役本店営業部長 延永 邦彦



大学卒業後38年間の銀行員生活を振り返ると長かったなあという印象はなく、15回の転勤と7回の引っ越し、7年間の単身赴任と慌ただしく過ぎ、そして私の中で記憶に残る3つのショックなど様々なことがあった38年でした。

血気盛んな若手渉外マンの頃の「バブル崩壊ショック」、不惑を過ぎて道理の通ったバンカーであるべき頃の「リーマンショック」、他にも小さなショックは数々ありましたが銀行員生活最終盤の昨年に起きたコロナウィルスショックほど大きなものはありませんでした。まだ収束を迎えたわけではありませんので過去形では語れませんが、このショックへの銀行員としての対応がこれまで最もきつかったように思います。当初は取引先も今のような事態に陥ることを想像できず、ここまでの経済的損失の拡大、事業の継続性さえ危ぶまれる厳しい状況まで考えておられなかったことでしょう。事態が深刻になるにつれ取引銀行への相談や資金繰りや補助金申請などの要請が急増し、国からも緊急融資制度への

迅速な対応が求められ、私ども銀行員は皆多忙を極めました。1日でも早く制度の資金をお客様にお届けすることを第一に、部店長であった私も緊急時対応にモードを切り替えて時間優先で対応していました。当社社長の「雨の日に傘を引くようなまねは絶対するな」の号令が全社員に完全に浸透していたのだと思います。期限の年度末までに必要な資金をお届けすることができ肩の荷を下ろすことができました。38年間の銀行員生活の終盤に地元のお客様に多少なりとも恩返しができ、地元金融機関としての役割を果たすことができたように思います。また自分を育ててくれた銀行にも何とか最後にお役に立てたかなと、ちょっとした誇りを感じることができました。営業の最前線で地元のお客様と接することはもうあまりないと思いますが、銀行を退職するその日まで地元の方々のお役に少しでも立つようますます励んでいきたいと思っています。

(のぶなが・くにひこ。昭和55年卒)



随想

コロナ禍で思ったこと

岡山県県民生活部中山間地域振興課総括参事

稲家 誠

新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見えない中、私も9月の終わりに2回目のワクチン接種を終えました。2回目の接種後は発熱など副反応が8割を超えるとといった情報も一部で流れており不安でしたが、幸いにもほとんど副反応がなく、安堵したところでした。

さて、この1年半あまり、外のお店で懇親会を行うこともほとんどなく、また、仕事では県外出張がほぼなくなり、ズームによるオンライン会議が増えるなど、仕事のやり方も大きく変わりました。

こうした中、高校2年生の長女が楽しみにしていた北海道での修学旅行が県内日帰り旅行に変更になり、今の高校生は本当にかわいそうだなあと感じつつ、ふと、自分自身の高校時代を振り返ってみると、在校中は修学旅行がなく、毎年、生徒会で様々な議論されていましたが復活されず、共通一次試験で岡山市内の旅館に集団で宿泊したことが、修学旅行の代わりのようなことを思い出しました。今は、津山高校も修学旅行があると聞いていますが、一日も早いコロナの収束を祈るばかりです。

私の仕事の方ですが、岡山県職員に平成元年4月

に採用になり、今年で33年目を迎えました。令和3年4月からは、県庁4階の中山間・地域振興課に勤務していますが、同じ班の中には、私以外にも津山高校の同窓メンバーがおり、時には懐かしい同郷の話もしながら、一緒に仕事に励んでいます。

コロナ禍で、人との接触が少なくなる中、自分自身を見つめ直す時間が増えるとともに、定年もあと数年で迎える年齢となり、改めて、残りの在職期間をどう過ごしていくかが、大きな課題になってきました。こうした中、今、強く感じているのは、「原点を大切に」ということです。最初の職場で大変お世話になった上司が、採用後間もない私に対し、「稲家君が採用された陰で、残念にも採用されなかった多くの方がいる。そのことを忘れないで頑張っていくことが大事だよ。自分もこれまでそうしてきた。」との話をしてくださいました。

何のために県職員になったのか、今一度、コロナ禍の中、自分自身に問いながら、日々精進してまいりたいと思います。

(いなや・まこと。昭和60年卒)

第27号

津山高校

県南クラブ



中学生にもわかる 放射線・放射能と原子力発電

安東 醇 著

(昭和29年卒)

通商産業研究社 発行

定価 1,320円

カイロプラクティック

行 成 治 療 院

院 長 松 下 行 成

〒711-0933 倉敷市児島通生890-7

TEL (086) 474-6785

黒明 東洋治 (昭和33年卒)



ハート&コミュニケーション

株式会社ソフィア

代表取締役 全 本 親 民

(昭和35年卒)

〒708-0033 岡山県津山市河原町29番地3

TEL 0868-25-1000 FAX 0868-23-5800



ENEOS株式会社特約店 大内石油株式会社

代表取締役会長 大内 宏 之

(昭和37年卒)

本 社 岡山市北区御津金川 ☎ (086) 724-0844

花尻ききょう町営業所 ☎ (086) 254-2030 セルフ岡山御津S.S. ☎ (086) 724-1181
築港営業所 ☎ (086) 264-2520 金川営業所 ☎ (086) 724-0069
二軒茶屋営業所 ☎ (086) 294-2304 ENEOSでんき ☎ (086) 724-0844



アクト設備株式会社

代表取締役 保 住 長 男 (昭和38年卒)

本 社 / 〒703-8221 岡山市中区長岡468番地1
TEL (086) 279-7677 FAX (086) 279-7887

津山出張所 / 〒708-0052 津山市田町119番地11
TEL (0868) 22-8505 FAX (0868) 22-8506

◆空調調和設備・販売・設計・施工・管理◆ビル設備総合メンテナンス
◆赤水、錆、スケールの除去と防錆装置・設計・施工
◆建設業許可岡山県知事許可(般19)第15201号
管工事業・電気工事業・消防施設工事業

片 山 淑 雄

(昭和45年卒)

クリエイティブリンク株式会社

代表取締役 戸 田 豊

(昭和45年卒)

地方独立行政法人

岡山市立総合医療センター理事長

岡山市立市民病院院長

松 本 健 五

(昭和45年卒)

水と取り組む・実績と信用
上下水道用資材総合取扱店・上下水道設計施工



株式会社佐藤管材工業

代表取締役 佐 藤 三 平 (昭和46年卒)

〒701-0165 岡山市北区大内田830-2

TEL (086) 292-5311 (代) FAX (086) 292-5188



株式会社 システムフロンティア

代表取締役 永 禮 一 平

(昭和46年卒)

〒700-0942 岡山市南区豊成2丁目7番16号
TEL (086) 264-0326 FAX (086) 264-0326

E-mail : nagare@s-frontier.co.jp

URL : http://www.s-frontier.co.jp/

岡山中央法律事務所

元検事 板 垣 和 彦

弁護士

(昭和48年卒)

〒700-0821 岡山市北区中山下1-9-1 山陽アルファ中山下ビル6階

TEL (086) 212-2120 FAX (086) 212-2130

URL http://www.okachulaw.com/

E-mail itagaki@okachulaw.com

相続・贈与・評価の申告相談

岡部正晴税理士事務所

税理士 岡 部 正 晴 (昭和48年卒)

〒710-1102 倉敷市茶屋町早沖325

TEL (086) 436-8662 携帯 090-6436-5327

E-mail : okabe01114@yahoo.co.jp

人と企業を大切に! 頑張る中小企業の応援団



公益財団法人 岡山県産業振興財団

専務理事 長 森 定 好

(昭和50年卒)

〒701-1221 岡山市北区芳賀5301(テクノサポート岡山)
TEL (086) 286-9664



水と空気を管理する

山陽技研株式会社

代表取締役社長 井 上 沙 緒 (昭和53年卒)

空気調和、給排水衛生設備工事 設計施工
設備設計一級建築士事務所

本 社 / 〒700-0941 岡山市北区青江4丁目8番1号
TEL 086-231-0248 FAX 086-224-4765
http://www.sanyo-giken.co.jp

倉敷営業所 / 倉敷市北畠2丁目17番27号

株式会社 美作不動産鑑定

代表取締役 不動産鑑定士

日 笠 常 信

〒701-0151 岡山市北区平野1020番156

Tel 086-250-7227

Fax 086-250-7027

E-mail mimasaka@city.or.jp

URL http://www.mimasaka-real-estate.jp

(株) オーノ

児童デイサービス・放課後等デイサービス
(くるくるめろん島・ふるーつ村・もりもりめろん広場・おれんじ村)
日 中 一 時 支 援 (まーぶるの森)
特 定 相 談 支 援・障害児相談支援
保育所等訪問支援

(医) 大野はぐみクリニック (旧 大野小児科医院)

(株) オーノ 代表取締役 / (医) 大野はぐみクリニック 理事

大野 順 子 (昭和61年卒・旧姓 只友)

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-2-11

TEL (086) 254-7777

melonjima.net o-hagukumi.net



税理士法人 石 井 会 計

代表社員 税理士

齊 藤 司 幸 (昭和61年卒)

〒700-0975 岡山市北区今8丁目11-10

TEL (086) 201-1211 FAX (086) 201-1215

URL : http://www.ishii-cpa.com

E-mail : ishiicpa@mx4.4t.tiki.ne.jp

今号の発行に際しましては、
山下昌英様 (昭和50年卒)、沼元
昇様 (昭和52年卒) からのご芳志
を賜りました。深く感謝申し上げ
ます。

随 想

コロナ禍で

副代表幹事 北原 章江 さん

令和二年二月、私は仲良くしてもらっているお姉様方と三人で、春の台湾旅行の計画を立てていました。旅の雑誌を見たりネットで検索したりしながら、どこに行って何を見て、何を食べようか！等々、初めての台湾にワクワクドキドキしていたのです。この時はこれから先の数年間、世界中が新型コロナウイルス感染症の脅威にさらされるなど、夢にも思っていないませんでした。

中国の武漢で、新型コロナウイルス関連肺炎の発生が報告されたのが令和元年十二月。以降、世界各国からも発生が報告され始めました。初めてニュースを見た時は、肺炎くらいでなんでこんなに大騒ぎするんだろ…とどこか他人事に思っていました。しかし、瞬く間に世界中に広がり、海外への渡航はもちろん国内での移動も制限される事態になりました。楽しみにしていた台湾旅行も無期延期になりました。旅行に行けない、飲み会もできない、友達と会うこともできない。県南支部の活動もすべて中止。行動を制限されることの窮屈さを感じる日々でした。しかし、人間というものは何だかんだ順応していくもので、今ではウイズコロナの生活が当たり前の日常になってきました。最初は悪いことばかりに目が向いていたのですが、外出できない分、家庭での時間の過ごし方が変わりました。話をする時間が増えたり近所を散歩したり。撮りためていたドラマを見たり…。今年の夏はオリンピックをゆっくり観戦することもできました。また在宅での仕事が奨励されるようになり、インターネット環境があつと



いう間に整えられていきました。視点を変えれば良いこともあるかと、感じられるようになりました。コロナが終息しないことを誰かのせいにするのではなく、一人ひとりが自分にできる感染予防対策を実践することが終息への近道だと思います。私も一日も早いコロナの終息を祈りつつ自分にできることを精一杯頑張りたいと思います。

(きたはら・あきえ。平成4年卒(四十三期))

新企画 「私の1枚」

関東支部会報に写真を投稿する「私の1枚!」というページがあります。本号から県南支部版を始めました。

スマホ写真で結構です。皆様お気軽にコメントと併せて事務局にご送付ください。

目が悪くても山登りが楽しめます!!!

2021年10月、岩屋山 (483m)

左:竹内宏器(弱視)、
右:内田収(全盲)
後期高齢者でかつ視覚障がい者の我々ですが、こまくさハイキングクラブ(086-239-4091)とレインボウメイト(津山)の助けを借りて山登りを楽しんでいます。

昭和40年卒 竹内 宏器



週末は綾部でスローライフを楽しんでいます。

自力で薪ストーブを設置しました。
木材料は自前で、1年ほど掛かりました。

昭和47年卒 岡田 祥司



初孫が生まれました。コロナ第5波での出産で周囲はドタバタしましたが元気に大きくなっています。今は私のスマホの待ち受けです。

昭和52年卒 上原 毅

【掴まえた】

月下美人の花が、咲いた瞬間。

2週間前は、見逃して、しぼんだ残骸をつぼみだと思い、まだか、まだかと数日寝不足。今度は、掴まえました。

梶の木のような香り。

みるみる開くので、感動!

昭和51年卒 井戸 万寿三



現在の津山高校

お彼岸の3連休で県北に帰りました。実家には泊まらず、家内と津山市内に宿泊、3月19日（土）夕方に一番街から銀天街、裁判所を経由して津山高校まで散歩をしました。津山高校までの道すがら思い出してみたのですが、何年ぶりか思い出せないほどの月日が続いています。裁判所前を通過、花むらを左に曲がり、やっと到着です。当然のことながら、水島のヤマザキショップはありません。正門を見ると、「いつも通っていた正門が閉まっている、、、、」。休日なので閉まっていたり当然ですが、チェーンもかかっていたので、多分現在は終日施錠されているのかなと勝手に想像しました。北側の門が開いていたので、卒業生だからいいかと勝手に思い、中に入ってみました。よくある「関係者以外立ち入りを禁ず」の看板はありませんでした。

中に入ると、部活動でしょうか、自習しているのでしょうか、生徒がちらほらいるのが見えました。すれ違うと、さすが礼儀正しく、知らない高齢者夫婦にもちゃんと挨拶をしてくれます。本館わきから十六夜山を通り、ぐるっと校内をまわりました。80周年記念館に行くと、私が通っていたころは食堂だったはずが、現在は「糸のこぎり」がおりてあり、津山中学の技術工作室として使われているようです。

その後見回りをされていた若い先生と少しお話しし、母校を後にしました。

その折の写真を掲載させていただきます。あまりきれいには撮れておりませんが、ご容赦ください。

（昭和52年卒 沼元 昇）



中庭です



スーパーサイエンスハイスクールの懸垂幕が光っています。



80周年記念館

支部最新ニュースはホームページで

県南支部のホームページでは、支部の動向が分かる最新のニュースをアップしています。アドレスは <https://www.tsukou-kennan.org/> です。支部の最新ニュースをお伝えする新着情報、同好会の活動報告、会報「県南クラブ」のバックナンバー紹介、支部のイベントを写真で紹介する「ギャラリー」などで構成しています。ぜひアクセスしてください。

支部事務局より

支部にご連絡がある方は、電話もしくは、県南支部ホームページ「お問い合わせ」ページを利用してお知らせくださるようお願いいたします。

岡山県立津山高等学校同窓会

岡山県南支部会報「県南クラブ」第27号

2022年3月25日発行

発行人 松本健五

発行所 津山高校同窓会県南支部

〒700-0982

岡山市北区中島田町2-3-19

株式会社システムズナカシマ 岡山支店気付

TEL. 090-2377-3950